



大田区立清水窪小学校

# かしわ

清水窪小学校の教育目標

- 自然や友達を大切にする子ども
- 心身ともにたくましい子ども
- よく考え、最後までやりぬく子ども

令和4年 2月号

## 「おおたサイエンススクール」の取組

副校長 野中 一宏

新型コロナウイルスが猛威を振るい、一日の感染者数が過去最大となっています。このような状況ではありませんが、1月は、「おおたサイエンススクール」として、本校の特徴である2つのことを推進してまいりました。

### (1) 東京工業大学との関わり (研究室訪問)

コロナ感染者数が減少してきたタイミングの昨年末、東京工業大学の先生方に「今年度も、先生方が研究されている最先端科学や大学のことについて御指導いただけないでしょうか。」とお願いをしてまいりました。先生方には、御快諾いただき、子どもたちに大学のことや日々研究されていることについて、小学生に分かりやすくお話していただけることとなりました。お願いしていた12月頃は、研究室訪問の実施に向けて検討をすすめておりましたが、難しい状況となりました。それでも、先日3年生に二階堂雅人先生、4年生に藤井学先生が御来校くださり、御指導いただきました。子どもたちはとても喜び、真剣にお話を聞いていました。今月は5年生は岩附信行先生、6年生は松本義久先生から御指導いただけることになっており、そちらも大変楽しみです。

### (2) おおたサイエンススクール研究発表会

1月31日に文部科学省初等中等教育局教科調査官鳴川哲也先生を講師にお迎えし「おおたサイエンススクール研究発表会を行いました。多くの方にお越しいただくことが難しいため、オンラインで開催し、大田区内の教員関係者に取組内容や研究の成果を発信しました。研究主題「科学大好きな子どもを育てる」を実現するために、多くの先生方に御協力いただいたおかげで、取組を進めることができている。発表会の成果でもお話ししましたが、子どもにアンケートをとると、「サイエンスコミュニケーション科が好き」という回答が毎年9割を超えています。高い水準を維持することができているのは、東工大をはじめとする外部の先生方の御支援、そして地域保護者の皆様の御協力のおかげです。心より感謝申し上げますとともに、今後も継続できるよう御協力をお願いいたします。

### 研究だより

今年のサイエンスフェスティバルは、はコロナ感染症防止のため、2月15日(火)から21日(月)までの期間に学年別で実施することとなりました。サイエンスフェスティバルでは、各学年・学級で1年間取り組んできたSC科の学習をまとめ、自分たちの学びを発表し合います。子ども同士で発表を聞き、時には意見交換し合うことで、新たな発見をしたり疑問をもったりして、科学への関心を高めることをねらいとしています。「科学大好き」な清水窪の子どもたちが、「もっともっと科学大好き」になるように、この機会を充実させていきたいと思っています。

## 2月 学校行事予定

日	曜	行事予定	放課後
1	火	スキルタイム	○
2	水	学級の時間 午前授業 補習456年 オリパラ教育講演会	○
3	木	学級の時間	○
4	金	読書タイム 総合「障がい理解学習」4年	○
5	土		
6	日		
7	月	全校朝会 社会科見学3年 下校指導1年	○
8	火	卒業おめでとう集会準備	○
9	水	安全指導 新1年生保護者会 発育測定15年 補習456年	○
10	木	音楽朝会 B時程 校内道徳研修のため4年2組以外5時間授業	○
11	金	建国記念の日	
12	土		
13	日		
14	月	全校朝会 社会科見学4年 補習3年	○
15	火	スキルタイム 区小漢字検定 サイエンスフェスティバルウィーク始	○
16	水	学級の時間 小中一貫発表会 補習456年	○
17	木	卒業おめでとう集会準備 B時程	○
18	金	読書タイム	○
19	土	土曜授業日 土曜補習教室3456年	×
20	日		
21	月	全校朝会 クラブ(3年見学) 補習3年 サイエンスフェスティバルウィーク終	○
22	火	スキルタイム 東工大ゲストティーチャー6年	○
23	水	天皇誕生日	
24	木	卒業おめでとう集会準備 B時程 避難訓練	○
25	金	卒業おめでとう集会	○
26	土		
27	日		
28	月	全校朝会 委・代・た班長会議 補習3年	○

### ◆郵便局振込み

今月は給食費(2・3月分)の引き落としが1月14日(月)にありますので、12(土)までに御入金をお願いいたします。



## 2月の生活目標

「寒さに負けず元気に過ごしましょう」

生活指導部 財満 可南子

寒さが厳しい時期を迎えていますが、子どもたちは休み時間や放課後など元気いっぱい外で遊んでいます。外から戻ったら、きちんと手洗い、うがいをしよう指導しています。御家庭でもお子様に声かけをお願いいたします。冬は、空気が乾燥し、ウイルスが繁殖しやすい時期です。学校では、マスクを確実に身に付け、換気をして空気を入れ替えたりすると共に、下記の4点を重点に指導していきます。

- 手洗いうがいをしっかりとする。
- 室内の喚起をしっかりと行う。
- 外で元気に遊ぶ。
- ポケットに手を入れて歩かない。

## 漢字検定について

国語主任 廣瀬 朋子

大田区小学生漢字検定の第2回目(火)の5校時に行われます。「国語力の基本となる漢字の読み・書きの能力を身に付け、漢字に対する関心や認識を深め、国語を尊重する態度を育てる」ことをねらいとしています。受検級については、先日配布しました別紙を御覧になり、お子様の希望を考慮して、御家庭で決めて御提出ください。9月に引き続き、自分の選んだ目標に向けて練習し、正しく漢字の読み書きができる力を伸ばせるように指導しています。

## 4年生SC科ゲストティーチャーについて

4年担任

1月21日(金)に東京工業大学の藤井先生をお招きして、「水をきれいにする最新技術」についてお話をいただきました。子どもたちは、新しい技術を間近で見ることができ、とても興味深く話を聞いていました。また、藤井先生が研究しているカーボンナノチューブを使った実験も体験させていただきました。

色が付いた水に、活性炭とカーボンナノチューブをそれぞれ入れて攪拌して、その水を濾過すると、色が薄くなった水が出てきます。その色の違いに子どもはとて驚いていました。お話や実験を通して、楽しく学習することができました。

## 卒業おめでとう集会について

特活部 寿山 侑子

2月25日(金)に卒業おめでとう集会があります。コロナ禍ではありますが、卒業する6年生に向けて、感謝の気持ちを伝えられるように準備しています。今年度の卒業おめでとう集会は、体育館と各教室を中継でつなぎながら行います。学年ごとに体育館へ行き、入れ替わりながら言葉やダンスなどの出し物を6年生に向けて披露します。例年、どの学年も工夫を凝らした出し物が行われるので、楽しみです。5年生は、来年度のリーダーとして会の計画を立派に立ててくれています。6年生からの思いを受け継いでいってくれることと思います。

## 専科・給食室から

算数室から

算数少数担当 伊藤 準紀

算数では、問題を正確・丁寧に答えることに加え、考え方を伝え合い、公式の成り立ちや、友達の考えの良さを見付ける学習も行っています。その際、考えを言葉で伝えたり、書画カメラに映したりする方法に加え、タブレットの協働学習用ソフトウェアも活用しています。積極的に発言する子、ノートを丁寧に書き上げる子、タブレットの機能を上手に活用する子がそれぞれいて、色々な手段で意見を伝えようとする良さを感じます。様々な方法で表現された、子どもの考えを大切にしながら、学習を進めていきます。

音楽室から

音楽専科 山田 智子

音楽室では、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら音楽の授業を行っています。今まで使用していた鍵盤ハーモニカに代わって、一人1台卓上キーボードを利用して不自由なく鍵盤楽器の学習ができるようになりました。感染状況を見ながらリコーダーや歌の練習も行いますが、子ども同士の距離や身体の向き、演奏時間などに気を付けながら常時換気をしています。

タブレットを使った学習で、2年生から6年生では自分の演奏を録画して、録画したものを提出する練習を行いました。録画することで自分の演奏を振り返り、もっと上手になろうと何度も練習して撮り直す子どもが数多く見られました。生演奏の良さを大切にしながら、タブレットの活用を新しい学習方法のひとつと位置付けて活用していきたいと思います。

給食室から

栄養士 小山 美奈子

「もったいない」という言葉。「もったい」とは「勿体=もの」を指し、まだ価値のあるものを無駄にするのは惜しいという意味で使われます。この「もったいない」を世界に広めたのは、アフリカ人女性として初めてノーベル平和賞を受賞した、故ワンガリ・マータイさんです。ケニア出身の彼女は2005年に来日し、「もったいない」に出会って以来、地球環境を守る言葉として世界各国で訴え続けました。給食室でも、鶏がらで出汁をとる際にネギの青い部分を香味野菜として利用したり、ゴムベラを使って無駄のないように食材を使用したりしています。小さな行動でも、一人一人が自分にできることに取り組むことができると良いですね。

図工室から

図工専科 財満 可南子

昨年度に引き続き、2年生から6年生の図工を担当しています。図工室では、新型コロナウイルス感染症対策のため、なかなか複数人での共同制作を行うことは実現できていません。そんな中でも、一人でじっくり集中し作品と向き合う時間を大切にしながら、クラスの皆とお互いの作品を見合い、良さや面白さを認め合ったり、作品のアイディアや鋸や電動糸鋸等の道具の使い方のコツを発表し、共有したりしています。クラスの皆で楽しく協力しながら、互いを高め合えるよう指導しています。今年も残りわずかになりましたが、よろしくお祈りいたします。